

★市政トピックス★

3月定例会や全員協議会で取り上げられた市政の動きです。大村市議会はココに注目しています!!

給食センターの建設

老朽化や衛生上の問題から、市内の4つの小学校給食調理場を一つのセンターに統合し、平成24年度に供用を開始する予定です。現在、市は建設用地を買収すべく交渉に入っています。

議会では、適正な価格で用地を取得するよう求めました。



大村市の基金の状況

基金とは家計という貯金のことで、さまざまな目的で積み立てられています。本市には、財政調整基金等4基金、すこやか福祉基金、スポーツ振興基金などがあります。

本年度の一般会計当初予算では、大幅な財源不足を理由に、財政調整基金等4基金から約16億円を取り崩しています。

そのほか、すこやか福祉基金が平成23年度には枯渇し、この基金を活用して行ってきた福祉サービスに大きな影響が出るのが予想されます。市は平成22年度中に対策を検討していますが、先行きが不透明な状況です。

県立図書館の誘致

大村市は、県に対し、平成17年度から県立図書館の誘致を要望しています。県は今年5月から6月にかけて、誘致希望自治体の現地視察や意見聴取を行う予定で、大村市は警察署跡地周辺（大村駅そば）と市民体育館跡地（大村公園そば）を候補地として提案するとしています。

議会では、警察署跡地周辺エリアを候補地として提案するのであれば、周辺施設（市民会館、天正夢広場、こども科学館、市立図書館）をどのようにするのか、事前に明確に示すよう求めました。



大村駅舎内に開局したコミュニティFM放送局「FMおおむら」を大村市議会広報委員会が視察しました。毎日、朝7時から夜9時までの14時間、大村市の身近な情報をリアルタイムで発信しています。（周波数は76・3MHz）

スタッフの方は「大村を元気に、そして全国に大村をアピールしたい」と力強く語っておられました。

FMおおむらを視察

編集後記

議会だよりをお読み頂き誠にありがとうございます。本紙が、市民にとって、もっともっと大村市に興味・関心をもって頂く『キッカケ』となりますように、様々な大村情報を発信していきたいと想います。

今号には、認可保育所（園）第2子無料化の修正をはじめとする3月定例会の審議内容が満載です。行政と議会は、市民に対する説明責任を！市民は大村市に対する興味・関心を！

大村市議会は年に4回開催（3、6、9、12月）し、原則全ての会議を完全公開としております。是非一度、議会に足を運んで下さい。

市民・行政・議会が歩み寄り、9万人全員で未来の大村市を創っていきましょう。

（園田 裕史）

広報委員会

久野正義・馬場重雄
伊川京子・松崎鈴子
田中 守・三田村美津子
園田裕史・永石賢二
中瀬昭隆